

茶室でのひととき

金沢は茶の文化がたいへん盛んで、まちなかには歴史的にも貴重で由緒あるお茶室が数多くあります。おりに触れては、それらのお茶室で、お茶に親しまれる方々もおり、金沢の茶室に対する愛着を感じます。

私たちは茶室にいるとき、何を感じるのでしょうか。様々な機会をとらえて、是非、皆様には「茶室でのひととき」を過ごしていただき、ご自身の時を感じとっていただきたいと思います。

茶会はもちろん、茶会以外の文化的事業にもご利用いただけます。



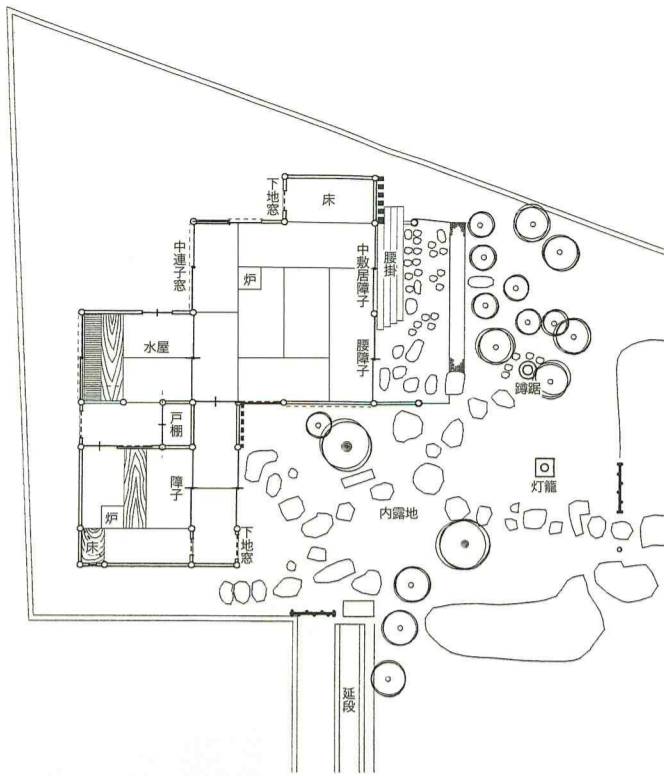
1 梅庵 (ばいあん)



この茶室は、昭和41年(1966)に中村酒造株式会社故中村栄俊社長が、中村記念館を開館した際に、庭園と共に茶室1棟を庭の西隅に新築し、併せて市に寄附したものです。

「梅庵」の席名の由来は、露地に紅白の梅を植え込み、風情を添えたところからきています。

本多の森公園の崖下であり、辰巳用水の清流がその横を流れ、深山に在る感じさえして市街地の真中とは思えない風情があります。

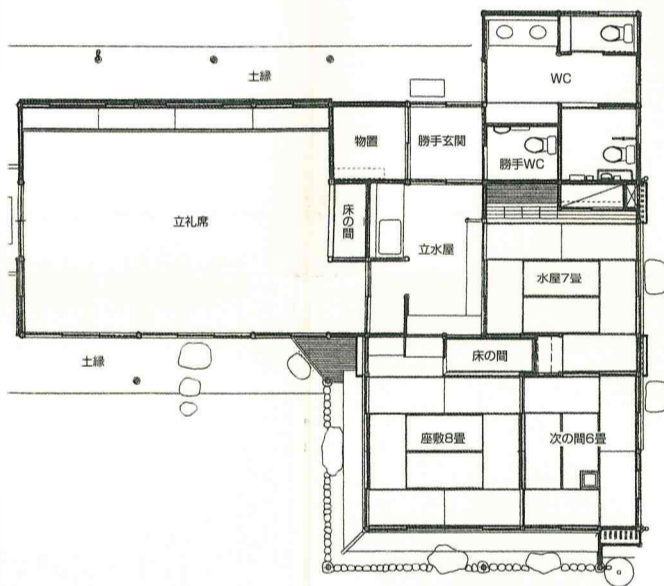


●構造：木造瓦葺平屋建
●構成：八畳本勝手・本床、三畳中板逆勝手・踏込床、水屋二畳

4 松涛庵 (しょうとうあん)



「松涛庵」は、慶応2年(1866)13代藩主斉泰公により、江戸の根岸に隠居所(富有園)の居間として造られました。本郷の本邸を経て明治の初め鎌倉へ移築された後、16代前田家主利為公が独立した茶室として整備し、「松涛庵」と命名しました。昭和54年(1979)浅野川に架かる常盤橋のたもとにある料亭ごり屋の敷地内に移され、平成13年(2001)、前田家ゆかりの茶室として金沢市が取得し、金沢21世紀美術館敷地内に移築。その際、新たに椅子点前による立礼席と水屋を増築しました。

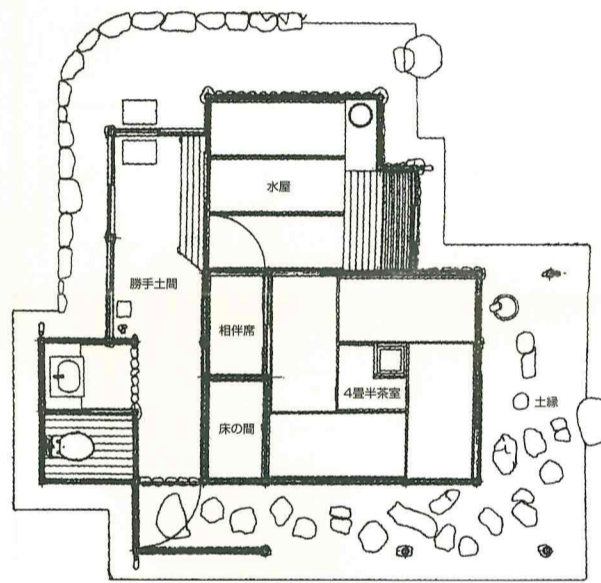


●構造：木造瓦一部銅板葺平屋建
●構成：八畳本勝手、六畳本勝手、立礼席、水屋七畳

5 山字亭 (さんうてい)



この茶室は、昭和26年(1951)に高岡市から金沢市本多町に移築され、使用されていたものです。長らく本多の森の中程に位置し、木立に囲まれた草庵風茶席で、「山のお茶室」と親しく呼ばれていました。平成14年(2002)に金沢市に寄贈され、金沢21世紀美術館敷地内に移築されました。移築に伴い「山字亭」と命名されました。



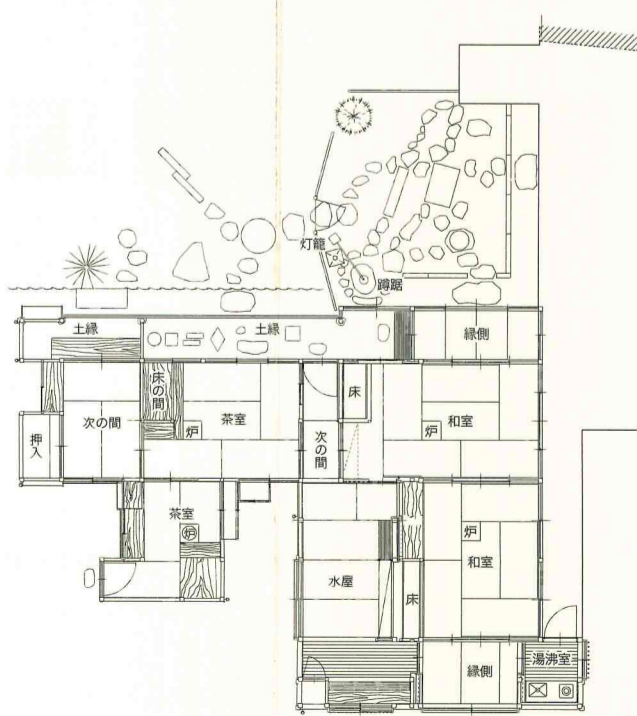
●構造：木造瓦葺一部銅板葺平屋建
●構成：四畳半本勝手・下座床、台目相伴席、水屋三畳

8 松声庵 (しょうせいあん)



「松声庵」は、幕末から明治にかけて、その道の数寄者として知られた尾張町の金谷三次郎邸内にありましたが、大正時代に常盤町の油谷邸に移築された茶室で、その後、金沢市に寄贈されました。また、時を同じくして高岡町の表千家茶道家、故中林宗代の建物が金沢市に寄贈されることになったので、両建物の保存と活用を図るため、平成13年(2001)、中林邸内に松声庵を移築しました。

席名は、大正時代の政治家、中橋徳五郎が来席の際、「松声無古今」と揮毫したこと由来すると伝えられています。

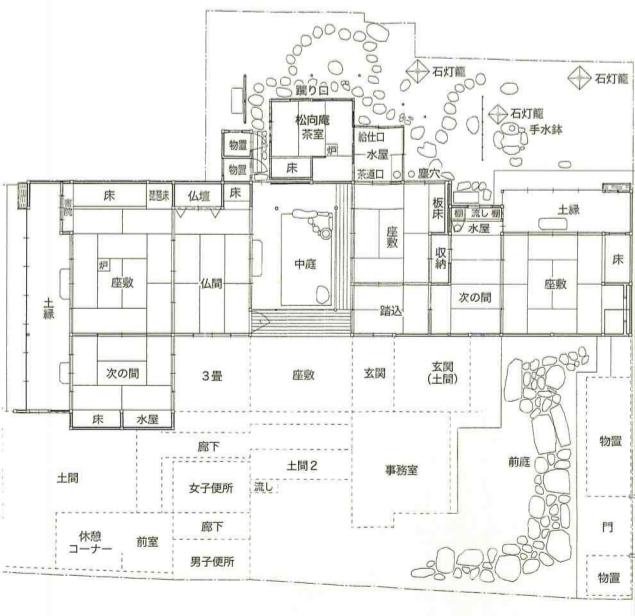


●構造：木造瓦葺平屋建
●構成：五畳板入、寄付待合=三畳、二畳台目丸炉、六畳、六畳

9 旧園邸・松向庵 (きゅうそのてい・しょうこうあん)



この茶室は大正10年頃、羽二重商を営んでいた本郷長次郎が、邸宅を新築した際、各部屋が茶事に使えるように、表千家家元千宗左、惺斎宗匠の指導によりつくられたものです。その後、この建物は園家が取得し住まいとしていましたが、平成4年(1992)、金沢市へ寄贈されました。茶室は3畳台目の「松向庵」、その他に10畳の広間、水屋、待合などが坪庭を中心に巧みに構成されています。大正期の近代和風住宅の一つとして、平成6年(1994)に金沢市指定文化財に指定されています。



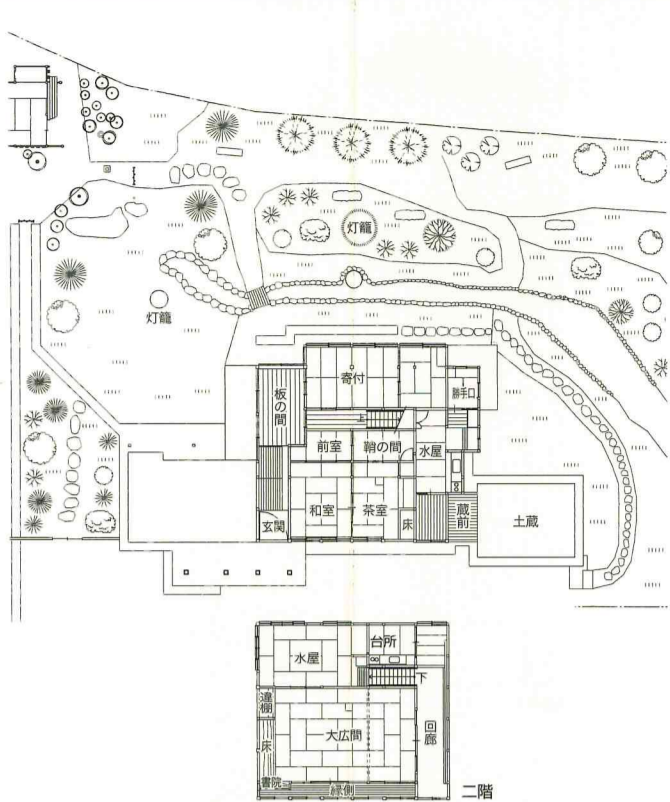
●構造：木造瓦葺二階建
●構成：十畳本勝手、七畳半、六畳、八畳、六畳
松向庵=三畳台目出炉、水屋二畳丸炉
※松向庵部分は、利用することはできません。

2 旧中村邸 (きゅうなかむらてい)



酒造業を営む中村家の住宅として昭和3年(1928)に建築され、昭和41年(1966)、故中村栄俊が現在地に移築、中村記念美術館の展示棟として一般公開されました。平成元年(1989)美術館が新館に移転後、現在の形に改装されました。

1階と2階に広間の茶室があり、特に2階の広間は天井が高く骨太で格式の高い書院造りとなっています。北側にある庭園は、本多の森公園と一体となって広がっています。「旧中村邸」は昭和61年(1986)に金沢市指定保存建造物に指定されています。



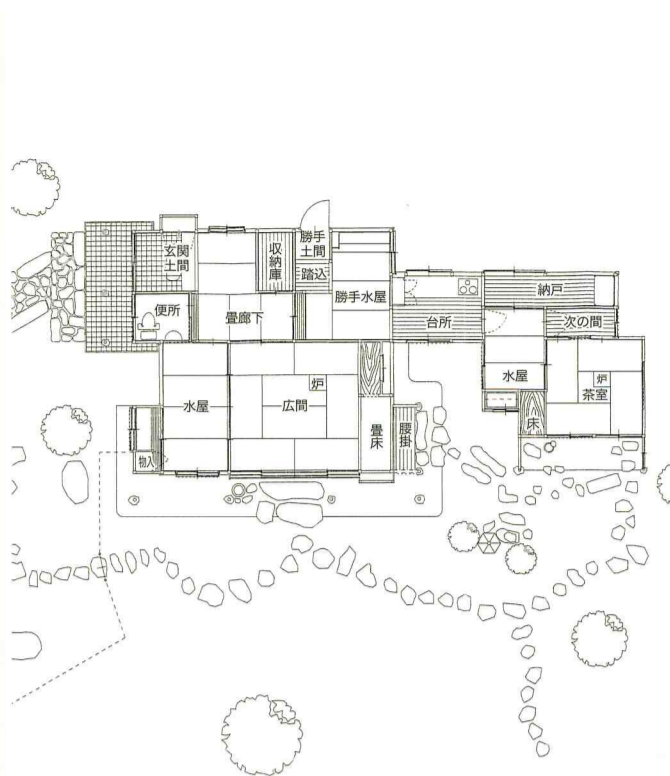
- 構造：木造瓦葺二階建
- 構成：一階=七畳半本勝手、十畳広間、十二畳寄付、六畳、水屋
二階=二十七畳、十二畳広間、水屋

3 耕雲庵 (こううんあん)



江戸末期に粟崎の豪商、木谷藤右衛門が京都の数寄屋大工に建てさせたといわれている茶室です。大正初期、高岡町の横山家邸内に移築され、その後、清川町の辰村家を経て寺町の中村家へ移築されました。

平成13年(2001)に現在地の中村記念美術館敷地に移築されました。なお、「耕雲庵」は永平寺を開いた道元禅師の「山居之詩」の一節「釣月耕雲」から名付けられました。



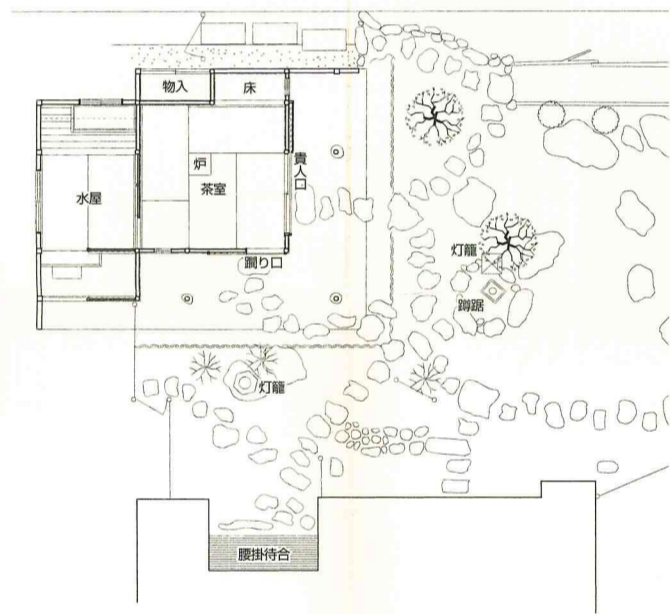
- 構造：木造瓦葺(一部銅板葺)平屋建
- 構成：四畳半本勝手下座床、次の間一畳、水屋、広間(八~十二畳)

6 匠心庵 (しょうしんあん)



母屋に利用されている建物は約130年前に建てられたもので、現在、長町研修塾として公開されています。

「匠心庵」は、金沢職人大学校一期生が母屋の修復と並行し、平成11年(1999)に完成した茶室です。「山景園」と名付けられた露地は、金沢市内の街角から眺望される里山になぞらえて自然石が配され、山並みがそこに凝縮されています。また、山並みの向こうには砺波平野になぞらえた平野があり、野点を楽しむこともできます。



- 構造：木造瓦葺(一部銅板葺)平屋建
- 構成：四畳半本勝手、水屋二畳

7 閑清庵 (かんせいあん)

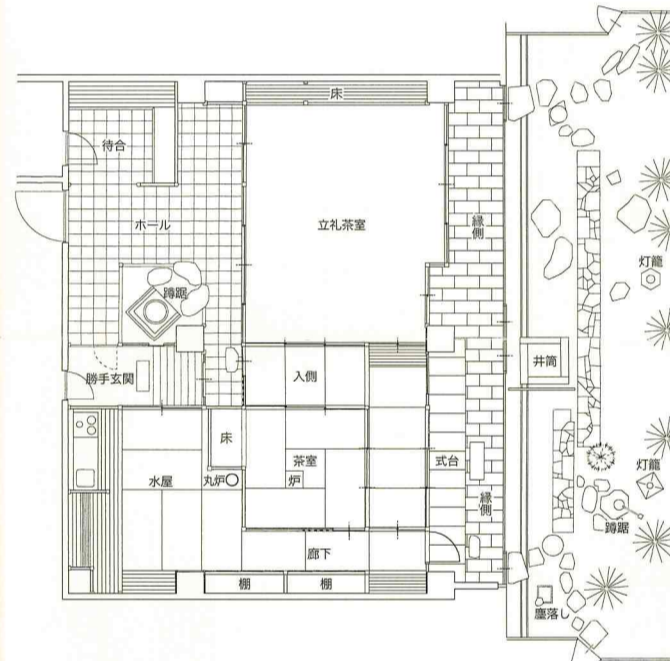


この茶室は、昭和57年(1982)金沢市立高岡町中学校跡地に、金沢四百年記念事業として、金沢市文化ホールを建設した際、1階部分に造られた茶室です。

茶室は、4畳半本勝手と立礼席の2室からなります。

立礼席の外側には露地風に、埋込と飛石が敷かれ、ここを歩いて畳廊下の縁側から席の出入りができるようになっています。

また、天気の良い日は庭を外露地として使用することができます。



- 構造：鉄筋コンクリート造三階建(茶室は一階の一部)
- 構成：四畳半本勝手十一畳半広間、水屋五畳丸炉、立礼席

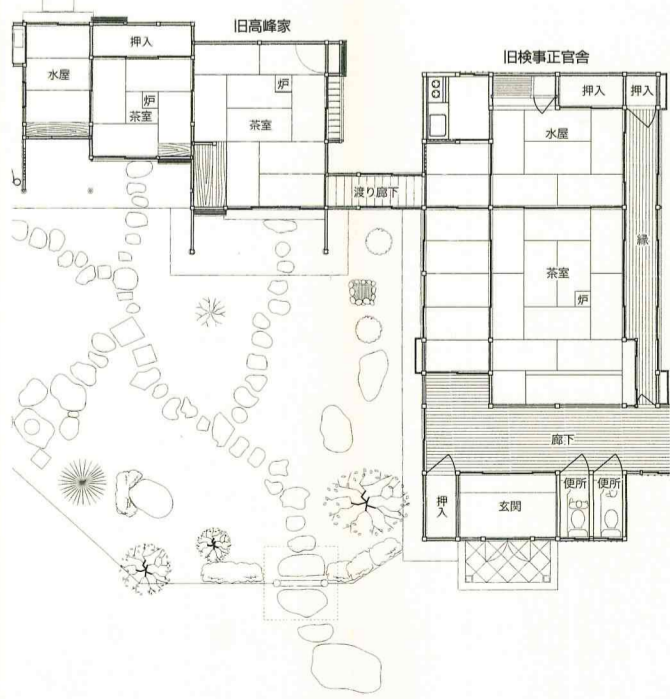
10 旧高峰家・旧検事正官舎 (きゅうたかみねけ・きゅうけんじせい官舎)



旧高峰家の建物は、世界的に有名な高峰謙吉の生家の一部を旧江戸村に移築し、さらに平成13年(2001)、元の場所に近いこの敷地に再移築したものです。その際、旧検事正の官舎の一部と渡り廊下でつなぎ、新しく水屋を設けています。

旧検事正官舎は、明治43年(1910)に兼六園下に建てられましたが、路面電車敷設による道路拡幅とともに大正7年(1918)、現在地に移築されました。

内部は洋風下見板張りの応接間、格天井の10畳座敷など、当時の近代和風建築の特徴をよく示したつくりとなっています。



- 構造：木造銅板葺平屋建
- 構成：旧検事正官舎=十畳半本勝手、六畳水屋
旧高峰家=九畳本勝手、四畳半、三畳水屋

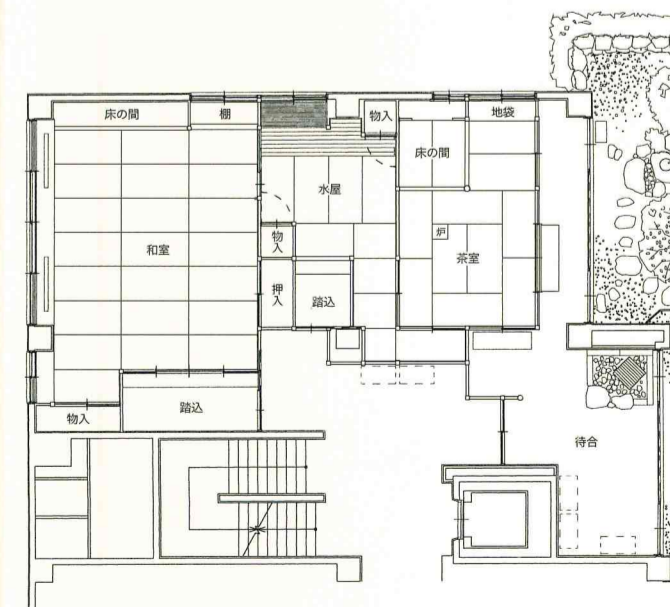
※旧高峰家部分は、利用することはできません。

11 流芳苑 (りゅうほうえん)



「流芳苑」は、平成元年(1989)、金沢市制百周年記念事業として、工芸に関する総合機関として整備された金沢卯辰山工芸工房のなかに併設された茶室です。

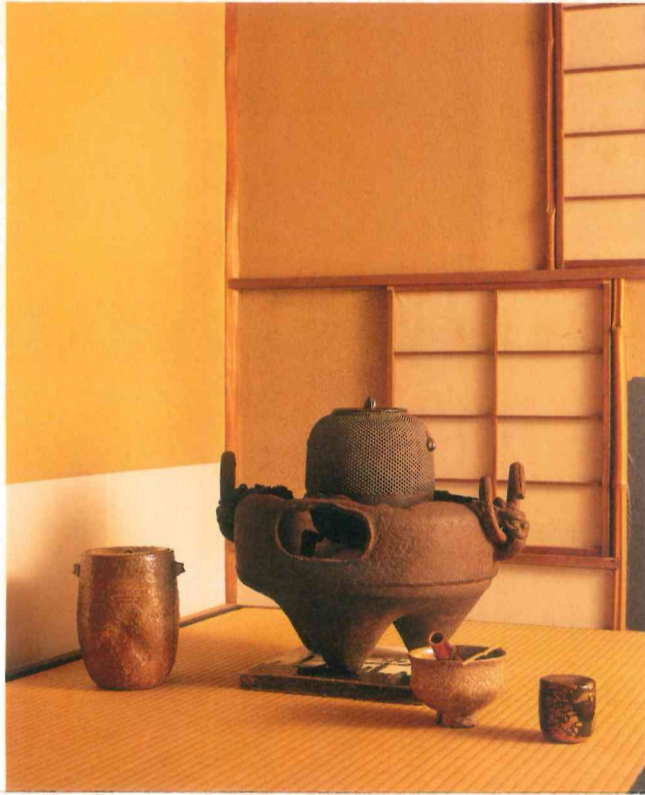
玄関から右に折れまっすぐ進むと、右手の待合から左へ茶室、水屋、和室と続くつくりとなっています。この水屋から双方の部屋へ出入りする通い口があり、2席を設けた茶会にも使えるように工夫されています。



- 構造：鉄筋コンクリート造瓦葺二階建(茶室は一階の一部)
- 構成：十畳本勝手、上段二畳書院付床、二十二畳広間、水屋六畳半

茶室でのひととき

金沢の茶室ご利用案内



■=金沢市運営の茶室 ■=石川県運営の茶室

No.	茶室名	所在地	利用時間	休館日	基本利用料金	茶席等
1	ばいあん 梅庵	金沢市本多町3-2-30 (金沢市立中村記念美術館敷地)	9時～16時	年末年始	午前2,625円/午後2,625円/全日5,250円	8畳本勝手、3畳
2	きゅうなかわらてい 旧中村邸	金沢市本多町3-2-30 (金沢市立中村記念美術館敷地)	9時～16時	年末年始	1階：午前2,835円/午後4,200円/全日7,035円 2階：午前4,725円/午後7,035円/全日11,760円	1階：7.5畳本勝手 2階：27畳
3	こうらんあん 耕雲庵	金沢市本多町3-2-29 (金沢市立中村記念美術館敷地)	9時～16時	年末年始	午前2,625円/午後2,625円/全日5,250円	4.5畳本勝手、広
4	しょうとうあん 松涛庵	金沢市広坂1-2-1 (金沢21世紀美術館敷地)	9時～22時	年末年始	午前3,400円/午後6,600円/夜間7,600円/ 全日16,400円	8畳本勝手、6畳
5	さんうてい 山字亭	金沢市広坂1-2-1 (金沢21世紀美術館敷地)	9時～22時	年末年始	午前2,700円/午後5,200円/夜間6,000円/ 全日13,000円	4.5畳本勝手
6	しょうしんあん 匠心庵	金沢市長町1-3-7 (金沢職人大学校長町研修塾敷地)	9時～16時	火曜日、祝日の翌日、 年末年始	茶室：午前2,100円/午後2,100円/全日4,200円 和室：午前1,050円/午後1,050円/全日2,100円	4.5畳本勝手
7	かんせいあん 閑清庵	金沢市高岡町15-1 (金沢市文化ホール内)	9時～22時	原則第2、4水曜日、 年末年始	午前2,620円/午後3,490円/夜間4,360円/ 全日9,000円	4.5畳本勝手兼11 立礼席
8	しょうせいあん 松声庵	金沢市高岡町10-25	9時～17時	年末年始	全室：午前2,625円/午後3,150円/全日5,775円	5畳本勝手、2畳 6畳
9	きゅうそのてい・しょうこうあん 旧園邸・松向庵	金沢市西町3番丁17-7	9時～16時	火曜日、祝日の翌日、 年末年始	全室：午前5,300円/午後5,300円/全日10,600円	10畳本勝手、広 8畳、6畳 ※松
10	きゅうたかみねけ・きゅうけんじせいかんしゃ 旧高峰家・旧検事正官舎	金沢市丸の内5-10	9時～17時	年末年始	午前1,050円/午後1,260円/全日2,310円	10畳本勝手 ※高峰家茶室は和
11	りゅうほうえん 流芳苑	金沢市卯辰町10 (金沢卯辰山工芸工房内)	9時～17時	原則火曜日、年末年始	茶室：午前1,575円/午後2,625円/全日4,200円 和室：午前1,575円/午後2,625円/全日4,200円	10畳本勝手、広
12	しぐれてい 時雨亭	金沢市兼六町1-5 (兼六園内)	9時～16時30分	年末年始	全亭：午前31,600円/午後36,800円/全日61,600円	10畳本勝手、広 8畳、13畳本勝手
13	たいせいけん 対青軒	金沢市兼六町1-1 (石川県立能楽堂別館内)	9時～22時	月曜日、国民の祝日(ただし 文化の日を除く)、年末年始	午前3,150円/午後4,200円/夜間5,250円/ 全日10,500円	8畳書院本勝手、
14	さいあん 犀庵	金沢市兼六町1-1 (石川県立能楽堂別館敷地)	9時～17時	月曜日、国民の祝日(ただし文化 の日を除く)、冬期間使用不可	午前3,150円/午後4,200円	4.5畳台目
15	いしかわけんりつびじゅつかん ひろさかべつかん 石川県立美術館 広坂別館	金沢市出羽町1-1	9時～17時	年末年始	半日1,420円/全日2,340円	8畳、6畳
16	せんしんあん 洗心庵	金沢市尾山町10-5 (石川県文教会館内)	9時～22時	年末年始	午前2,270円/午後3,460円/夜間2,920円/ 全日8,650円	8畳本勝手
17	しゅうすいえん 拾翠園	金沢市金石本町055 (石川県銭屋五兵衛記念館内)	9時～16時	12月～4月は火曜日、 年末年始	1人500円	3畳向切



茶室でのひととき

発行：金沢市都市政策局文化交流部文化政策課
〒920-8577 石川県金沢市広坂1-1-1
TEL.076-220-2442 FAX.076-220-2069
発行日／平成21年(2009)3月

広さ	道具貸出(無料)	駐車場の有無	特徴	茶会以外での利用	問い合わせ・申込み先
板逆勝手	有り	20台 (中村記念美術館共通)	・3畳と外腰掛けは待合利用可 ・無料駐車場有り	可	金沢市立中村記念美術館 TEL 076 (221) 0751
広間10畳	有り	20台 (中村記念美術館共通)	・梅庵と併用すれば、濃茶・薄茶席として利用可 ・無料駐車場有り ・建物は金沢市指定保存建造物	可	金沢市立中村記念美術館 TEL 076 (221) 0751
8~12畳	有り	20台 (中村記念美術館共通)	・4畳半下座床の茶室には道庫が付く ・無料駐車場有り	可	金沢市立中村記念美術館 TEL 076 (221) 0751
勝手、立礼席	有り	322台 (市役所・美術館地下駐車場)	・山宇亭を併用すれば2席使用可 ・前田斎泰ゆかりの茶室 ・立礼席有り・22時まで利用可能	可(要相談)	金沢21世紀美術館 TEL 076 (220) 2800
	有り	322台 (市役所・美術館地下駐車場)	・下座床であるが、お相伴席有り ・22時まで利用可能	可(要相談)	金沢21世紀美術館 TEL 076 (220) 2800
	有り	無し	・露地で、野点可能	不可	金沢職人大学校 TEL 076 (265) 8311
畳広間、	有り	無し	・立礼席有り・外露地利用可能 ・22時まで利用可能	可	金沢市文化ホール TEL 076 (223) 1221
目、六畳、	有り	3台	・明治時代の数寄者 金谷三次郎ゆかりの茶室 ・大小4の茶室があり、濃茶・抹茶席同時使用可	可	金沢文化振興財団 TEL 076 (220) 2190
7.5畳、6畳、 巻は利用不可	有り	無し	・表千家家元の指導によりつくられた茶室 ・建物は金沢市指定文化財 ・6畳を水屋にして使用すれば2席として使用可	花展のみ可	金沢文化振興財団 TEL 076 (220) 2190
目不可	有り	4台	・6畳水屋の一部も茶室として使用可 ・無料駐車場有り	可	金沢文化振興財団 TEL 076 (220) 2190
22畳	無し	有り (専光寺駐車場)	・無料駐車場有り	可(要相談)	金沢卯辰山工芸工房 TEL 076 (251) 7286
8畳、10畳、	有り	無し	・前田家ゆかりの茶室 ・特別名称兼六園内の茶室	可	石川県金沢城・兼六園管理事務所 TEL 076 (234) 3800
立礼席	有り	有り (県立伝統産業工芸館共通)	・谷口吉郎設計の茶室 ・立礼席有り ・22時まで利用可能 ・無料駐車場有り	不可	石川県立能楽堂本館 TEL 076 (264) 2598
	有り	有り (県立伝統産業工芸館共通)	・無料駐車場有り	不可	石川県立能楽堂本館 TEL 076 (264) 2598
	有り	有り (県立美術館共通)	・建物は第九師団長官舎 ・無料駐車場有り	可	石川県立美術館別館事務所 TEL 076 (221) 8810
	無し	無し	・22時まで利用可能	可	石川県文教会館 TEL 076 (262) 7311
	有り	42台	・銭屋五兵衛ゆかりの茶室 ・無料駐車場有り	可	石川県銭屋五兵衛記念館 TEL 076 (267) 7744

- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 無料駐車場の有る茶室 | 有料駐車場の有る茶室 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 梅庵 2 旧中村邸 3 耕雲庵 8 松声庵 10 旧高峰家・旧検事正官舎 11 流芳苑 13 対青軒 14 犀庵 15 石川県立美術館 広坂別館 17 拾翠園 | <ul style="list-style-type: none"> 4 松涛庵 5 山宇亭 |
| 無料茶道具貸出有 | 夜間利用可(22時まで) |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 梅庵 2 旧中村邸 3 耕雲庵 4 松涛庵 5 山宇亭 6 匠心庵 7 閑清庵 8 松声庵 9 旧園邸・松向庵 10 旧高峰家・旧検事正官舎 12 時雨亭 13 対青軒 14 犀庵 15 石川県立美術館 広坂別館 17 拾翠園 | <ul style="list-style-type: none"> 4 松涛庵 5 山宇亭 7 閑清庵 13 対青軒 16 洗心庵 |
| 立礼席有 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 4 松涛庵 7 閑清庵 | |
- 時間、休館日、料金等については、問い合わせ先に事前にご確認下さい。
○金沢茶室総合案内
<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/11020/chashitsu/index.jsp>